

藤井寺市行財政改革アクションプラン 2020（素案）に対するパブリックコメント実施結果

「藤井寺市行財政改革アクションプラン 2020」の素案について、パブリックコメントを募集しました。その結果と、提出された意見に対する市の考え方を公表いたします。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は適宜要約しております。また、パブリックコメントの対象事項についてのみ考え方を示しております。いただいたご意見を参考に今後も検討を進めてまいります。

○ 意見募集期間

令和2年11月27日～令和2年12月28日

○ 提出方法及び意見件数

メール：7件

直接提出：1件（匿名のため、受付できませんでした）

項目	ご意見	市の考え方
18ページ 駅前交通巡視員の見直し	人によっては、たかが巡視員かもしれないが、ロータリーの不法駐車は激減しています。藤井寺の玄関口です。やはり巡視員が居てこそ、駅前の環境は良くなっています。それ故無くすことは逆行かと思えます。	○駅前交通巡視員については、藤井寺駅北・駅南ともに平成30年度より状況に応じて巡視回数を調整する等の見直しを実施してきました。 今後も藤井寺駅周辺の状況を踏まえながら、巡視員の活用や警察への働きかけ等、駅前の環境整備に努めます。
18ページ 公共交通あり方検討	市の循環バスは日曜日が運休になっています。しかし、日曜日に行われるイベント時には多くの方が不自由を感じています。市民皆が参加できるようにイベント時の日曜日には運行するべきだと思います。	○公共施設循環バスは市内公共施設を利用してもらうため運行しており、市役所本庁が閉庁であることから日曜日は運休としています。また、過去には市民まつりや選挙の投票の際に送迎用バスを運行したこともありますが、利用者が少ない等の課題もありました。ご

		意見を踏まえ、今後も関係機関と連携しながら公共交通の最適なあり方を検討していきます。
10ページ (1)令和元年12月末現在の収支見通し	令和5年度以降、実質収支の▲が増加する見込みの中で人件費の増加が最も高くなっています。この収支見通しは人件費改革の取り組みが成されてもなお高騰するということでしょうか？ その場合、理由はございますか？	○本収支見通しにおいては集中改革項目に記載の今後検討を進める「人件費の抑制」による効果は反映していません。 なお、現在も1～5.9%の市独自での職員給与カットや日当の廃止など、さまざまな人件費改革取組を実施しており、本収支見通しに反映していますが、令和7年度と令和9年度において定年退職者が多く見込まれることによる退職手当の増など、人件費の増加が見込まれます。
13ページ以降 プラン2020の集中改革項目	改革プランの実行性を高めて取り組み成果を評価するためにはKPIの設定が重要です。とくに財政的厳しさから起因する改革プランが多い中で、成果の検証には取り組み効果指標（目標）が必要だと思いますが、KPI*は設定されないのでしょうか？ ※KPI（Key Performance Indicators）：重要業績評価指標 目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標	○集中改革項目については、あらゆる可能性を検討するという考え方で掲載しており、その検討の結果、効果が得られない場合や進める方向性によって効果額が大きく変わる場合があります。そのため、個別の取組については効果額等を示さず、トータルでの数値目標を掲げることとしています。
13ページ以降 プラン2020の集中改革項目	取組内容として使用料手数料の見直しや外郭団体の見直しなど様々な項目が挙げられています。大切なことは「いつまでに」実施して成果を出すかということだと思います。取り組み時期を示していただけませんか？	○プラン2020の取組期間は令和2年度から令和5年度までの4年間としており、集中改革項目は取組期間内に実施できるものは実施し、時間を要するものは方向性を定めるものなどにより進めていきます。「第5次総合計画」や「市長マニフェストロードマップ」などとの整合を図りながら、継続的に取り組んでいきます。

<p>13 ページ以降 プラン 2020 の集中改 革項目</p>	<p>取組項目として住民に影響があるものと、庁内の効率化・合理化に関するものがあるようにみえます。マークを付けて何れかが分かるようにして頂くことは可能でしょうか？</p>	<p>○ご意見を参考に表内に「市民」「庁内」の列を追加し、集中改革項目の各取組を分類しました。</p>
<p>6 ページ 表 3 経常収支比率に 占める性質別歳出の 割合（総務省「財政状 況類似団体比較カー ド」）</p>	<p>経常収支比率に占める性質別歳出の割合の数値を客観的に比較されているに過ぎず、藤井寺市が類似団体平均よりも高い水準である原因を分析して、藤井寺市行財政改革アクションプラン 2020 に反映されるべきであると考えます。</p>	<p>○類似団体は人口と産業構造により分類された類型であり、各団体の状況はそれぞれ異なります。そのため、分析の仕方によってさまざまな考え方があり、原因を1つに特定することは容易ではありません。そのため、類似団体と比較し高い水準にあるという現状から何らかの課題があるのではないかと整理のため、プラン内に掲載しています。</p> <p>今後も経常収支比率の改善に向けて、歳入の増加と歳出の抑制に取り組んでいきます。</p>